

フレッシュマン読本

— 網走ロータリークラブの
新しい会員のために —



2022年6月発行

網走ロータリークラブ
会員委員会

網走ロータリークラブは、有能なあなたの入会を心から歓迎いたします。ロータリーはあなたの力を必要としています。

この小冊子は、ロータリークラブ活動のもっとも基礎的な事項について簡単に説明しています。

どうか一読して下さい。

目 次

1. ロータリークラブの起源	1
2. 日本のロータリー	1
3. 網走ロータリークラブの歩み その1	2
4. ロータリーの組織	3
5. 委員会の構成	4
6. 会員の種類	4
7. 職業分類	5
8. ロータリーの目的	5
9. ロータリーの標語	6
10. 奉仕の理念	6
11. 五大奉仕部門	6
12. 職業を通じての奉仕	7
13. 四つのテスト	7
14. 年度のテーマと特別月間	8
15. クラブの諸会合	8
16. ガバナー公式訪問	9
17. 地区大会などへの出席	10
18. 例会の出席	10
19. 会員身分の終結	11
20. ロータリーの徽章	11
21. ロータリーソング	12
22. ロータリー財団	12
23. ロータリー米山記念奨学会	13
24. 補足…ロータリー用語について	14
25. 会員として知っておくと便利なこと	16
26. 網走ロータリークラブの歩み その2	17

1. ロータリークラブの起源

ロータリークラブ (RC : Rotary Club) が生まれたのは、1905 年のことです。当時、アメリカは経済恐慌に見舞われ、人心は荒れずさんで、犯罪は巷に満ちていました。こうした状況の中で、シカゴの一青年弁護士ポール・P・ハリス (当時 38 才) が、三人の友人と語り、2 月 23 日に第 1 回の会合を開いたのが、ロータリークラブの誕生です。

この時集まったのは、ポール・ハリス、そして石炭商のシルベスター・シール、鉱山技師のガスターバス・ローア、裁縫師のハイラム・ショーレイの 4 人でした。

さらに、印刷業のハリー・ラグルス、不動産業のウィリアム・ジェンセンを加えた 6 人は、「いずれも常に家郷を思い、友情に飢えていたので、この集まりも初めはただ友情を深め、互いの仕事を助け合おう」という思いから出発しました。

次第に、奉仕の精神によって人の和をはかることこそ、よりよい社会を作り出す道である、と考えるようになり、この理念を広く人々に呼びかけることとなりました。

最初は集会を会員の回り持ちで、各自の事務所で開き、クラブの世話なども会員が輪番 (Rotation) で受け持ったことから、ロータリークラブと名付けられました。

この理念は着実に成長し、現在 200 以上の国と地域に広がり、クラブ数 36,945、会員総数 1,204,997 人 (2022 年 4 月 20 日 R I 公式発表) に達しています。

2. 日本のロータリー

現在の日本のロータリーは、2,224 クラブ、会員数 83,855 人 (2022 年 3 月末現在) となっています。日本は 3 つのゾーンに分かれており 34 の地区で構成されています。

その歴史を簡単に見てみることにします。

日本における、最初のロータリークラブは、東京ロータリークラブであって、1920 年 10 月 20 日に、当時の三井銀行員米山梅吉氏を初代会長として生まれました。チャーターメンバーは 24 名で、発足しました。そして翌 1921 年 4 月 1 日付けで、登録番号 855 号でチャーターが与えられました。戦争中のやむなき中断があつたとはいえ、この日より 100 年余りの間に幾多のロータリアンの努力によって、24 名の発足時の会員は、今や 8 万人を超える大なる組織に発展しました。

この東京 RC の創立は、アジアでは、フィリピンのマニラ RC に次ぐものであって、世界の国々の中では RI 加盟 15 番目でありました。次いで 1922 年 11 月 17 日、25 名のチャーターメンバーで大阪 RC が創立されました。それから漸次各府県に拡大され、北海道では当時の外地のクラブを別にして第 8 番目のクラブとして、札幌 RC が 1932 年 12 月 3 日創立され、翌 1933 年には小樽 RC、次いで 1934 年には旭川 RC、函館 RC が創立されました。

3. 網走ロータリークラブの歩み その1

(1) 網走 RC の誕生

[誕生まで]

昭和 28 年 4 月、国際青年会議所アジア大会が、フィリピンのマニラ市で開かれました。網走からは、青年会議所理事長田辺正英、同特別会員山田道雄の両氏が出席しました。両氏は大会終了後、東南アジアからヨーロッパ諸国を歴訪しましたが、この視察旅行中にロータリー活動の実際を見聞、これをぜひ網走に設立したいと考え、5 月末帰国すると同時に活動を開始したのです。

ロータリーの趣旨を PR するとともに、会員の選考を進め、数次にわたって準備打合会を開き、さらにこれを創立発起人会に発展させ 9 月には設立趣意書を発表し、10 月発会を目指して努力が続けられました。

ことここに至るまでには、先輩クラブ釧路 RC の吉田会長をはじめ、両角、嵯峨、三原各氏の熱心なご指導がありました。また、1953 年～54 年度（昭和 28 年～29 年度）の第 60 地区ガバナーは、札幌 RC の名誉会員宮脇^{あつし}富氏でしたが、札幌 RC 会長伊藤豊次氏が第 60 地区のガバナー特別代表者となり、この両氏のご配慮によるところもすこぶる大きく待望の発会式を迎えるに至りました。

[網走 RC 発会式] 昭和 28 年 11 月 10 日

網走 RC の晴れの発会式は、昭和 28 年 11 月 10 日（火）12 時 30 分から、網走商工会館（南 3 東 2 元網走商工会議所所在地、現在の Pier20）2 階ホールで挙行されました。

これに先立ち、10 時からクラブアッセンブリーを開き、第 60 地区ガバナー特別代表者伊藤豊次氏、スポンサークラブ釧路 RC 会長吉田利和氏、同理事両角克治、嵯峨旻、三原正二の各氏から、定款・細則その他についてご指導を受け、質疑応答を重ねた後、定刻、発会式を開き、田辺正英氏が創立発起人代表として挨拶、仮議長に山田道雄氏を選び、定款・細則を満場一致で可決、さらに理事・役員を選任し、北見 RC 滝野啓次郎会長の祝辞があつて式を閉じました。時の会長は阿川二郎氏、幹事田辺正英氏、創立会員は 24 名でした。

なお、道内では 9 番目の誕生でしたが、既設の 8 クラブはいずれも戦前に創立されたもので、戦時下の昭和 15 年、国際ロータリーから離脱、戦後に復帰したものです。その意味で網走 RC は、戦後新設の北海道では第 1 号のクラブです。地区については、全国 1 地区制であったものを、昭和 27 年 7 月から第 60 地区、第 61 地区の 2 地区に分割、北海道は第 60 地区に属しました。

[国際ロータリー加盟承認] 昭和 28 年 12 月 14 日

網走仮クラブ発足とともに、待たれるのは国際ロータリーへの加盟承認でした。12 月 19 日宮脇ガバナーから「14 ヒ チャーターサレタ オメデトウ」の祝電が寄せられました。

すなわち、網走 RC は、1953 年（昭和 28 年）12 月 14 日付けをもって国際ロータリー

本部の承認を受け、正式にその一員として登録されたのです。

[チャーターナイト] 昭和 29 年 6 月 26 日

晴れのチャーター伝達式は、第 60 地区宮脇富ガバナーを迎えて、昭和 29 年 6 月 26 日（土）すなわち第 33 回の例会日を繰り上げ、網走市労働会館を式典会場として盛大に挙行されました。なお、チャーターナイト時における会員数は 28 名で、創立当時より 4 名の増加でした。

[クラブ創立記念日] 11 月 10 日

第 52 回例会において、第 2 代会長遠藤熊吉氏より、仮クラブ結成満 1 周年に当たり、本日は記念すべき佳き日です。ついては今後 11 月 10 日をもって、当クラブの創立記念日と定め、永遠に祝福することとしたい旨発言があり決定されました。

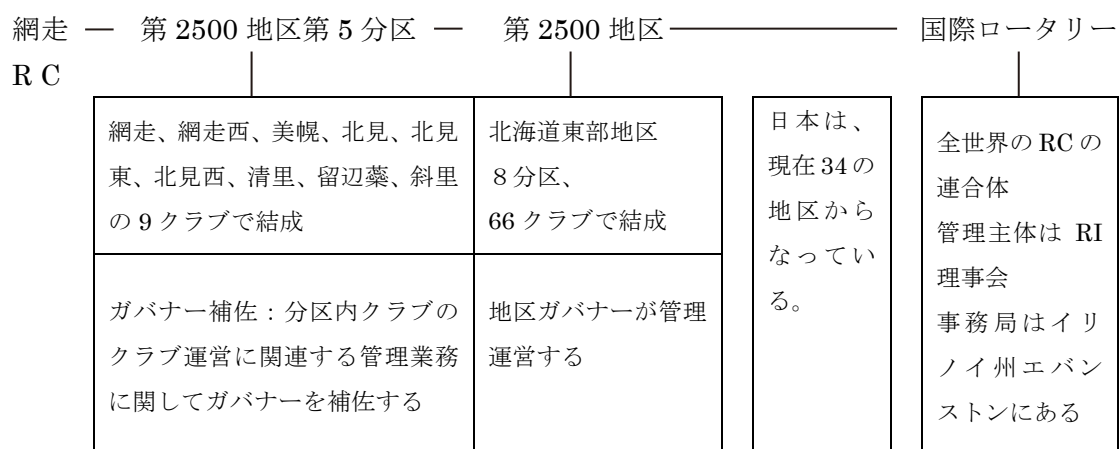
その後の年次別の主な行事は、17 ページ以降に列記します。

(2) 網走ローターアクトクラブの結成

網走 RC、網走西 RC がスポンサーとなり、昭和 49 年 10 月 17 日網走ローターアクトクラブが結成され、19 名の会員をもって活動に入りました。

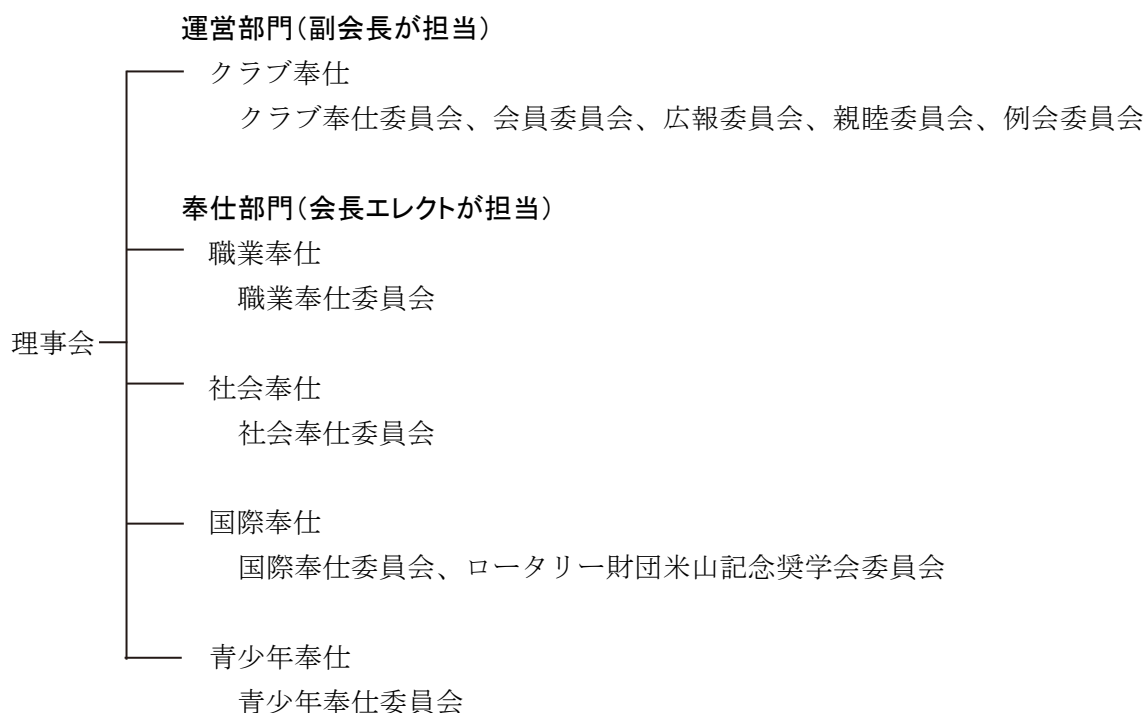
4. ロータリーの組織

ロータリアンは、所属するロータリークラブの会員であり、その所属するクラブが国際ロータリー（RI：Rotary International）の会員になっています。



5. 委員会の構成

網走 RC の委員会は現在 10 の委員会で構成されていますが、この 10 の委員会は大きく、5 つの奉仕部門に分類されます。



各委員会の任務については、クラブ細則第 9 条を、役員の任務については同第 4 条を参照ください。

6. 会員の種類

会員の種類は 2 つあります。

① 正会員

RI 定款第 5 条第 2 節の資格条件を有する者は、クラブの正会員に選ぶことができます。

(RI 定款第 5 条第 2 節 クラブは、善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、事業、専門職務、職業および／または地域社会でよい評判を受けており、地域社会および／または世界において奉仕する意欲のある成人によって構成されるものとする。)

② 名誉会員

クラブは、理事会が決定した存続期間で名誉会員を選ぶことができます。詳細は、クラブ定款第 8 条第 6 節を参照ください。

7. 職業分類

(ロータリーの基本的な考えをお分かりいただくために、2019年6月までの取り扱いを引用します。)

ロータリークラブの会員組織の原則をなすのは、職業分類です。つまり会員は職業における各分類から1名を選出して構成されることになっており、これはロータリークラブが、その地域社会の縮図であることが望ましい姿であり、そのために、あらゆる職業がまんべんなく代表されるように考えられているからです。

そして、そのような一業一人という職業分類の一つを会員が代表するということは、その固有の業種に、ロータリーの理念をもたらす役割を当然にもたされているものと理解するべきでしょう。

クラブの職業分類は、RIの職業分類指針に基づいて、その地域社会の職業分類調査を毎年8月末までに行い、作成した分類表に準拠しています。

なお、そのクラブの存在する地域経済の特殊性によって、関連した業種が多数あることが、その地域社会の真の姿を示すことになるのが多々あるので、その場合は、全体の10%までは、そのような関連職業分類をもつことが認められています。

2001年7月より、クラブは5名まで、会員数が51名以上のクラブの場合は、同一職業分類に属する正会員がクラブ正会員の10%を超えない限り、その職業分類の下に正会員を選出できることになりました。

そして2019年7月から職業分類の制限は廃止されました。2019年規定審議会では「クラブの構成を改正し職業分類の制限を廃止する件」が採択されました。しかし「多様性を推進するような均衡のとれた会員構成」も採択されましたので、多様性を維持することが前提であることに変化はありません。

8. ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにあります。

- 第 1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第 2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第 3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を实践すること。
- 第 4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

「ロータリーの目的」の4つの項目は、等しく重要な意味を持ち、また同時に行動を起こさなければならないものであるということで、RI理事会の意見が一致しています。

9. ロータリーの標語

標語として二つの言葉が広く知られています。ロータリーの公式標語です。

「超我の奉仕」“Service Above Self”

「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」“One Profits Most Who Serves Best”

◇ロータリー・モットーの変遷

1910年の最初の大会で、アーサー・フレデリック・シェルドンは、ビジネスは全て社会に尽くす手段でなければならないとの信念から“**He Profits Most Who Serves His Fellows Best**”（最もよく仲間に奉仕するものは、最も多く報いられる）と主張しました。

また、ポーランドでの第2回大会では、B・フランク・コリンズは、ロータリークラブは“**Service, Not Self**”（無私の奉仕）を根本精神とすべきであると主張しました。

これらは後年、“**One Profits Most Who Serves Best**”（最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる）と“**Service Above Self**”（超我の奉仕）とに、それぞれ修正された経緯を持っております。

さらに、1950年にロータリーのモットーとして正式に採用されたのです。また、1989年の規定審議会ではロータリーの第一標語として“**Service Above Self**”が決定され、それ以降ロータリークラブの考え方を明確に指し示すこととなりました。

10. 奉仕の理念

ロータリーは、基本的には、一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と義務およびこれに伴う他人のために奉仕したいという感情との間に常に存在する矛盾を和らげようとするものです。この哲学は奉仕—“**Service Above Self**”—の哲学であり、“**One Profits Most Who Serves Best**”という実践理論の原理に基づくものです。

11. 五大奉仕部門

ロータリーの五大奉仕部門は、本ロータリークラブの活動の哲学的および実際的な規準です。

- 1, 奉仕の第一部門である「クラブ奉仕」は、本クラブの機能を充実させるために、クラブ内で会員が取るべき行動に関わるものです。
- 2, 奉仕の第二部門である「職業奉仕」は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、品位ある業務はすべて尊重されるべきであるという認識を深め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を実践していくという目的を持つものです。会員の役割には、ロータリーの理念に従って自分自身を律し、事業を行うこと、そして自己の職業上の手腕を

社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えることが含まれます。

3. 奉仕の第三部門である「社会奉仕」は、地域社会における積極的平和を目指すことにより、クラブの所在地域または行政区域内に居住する人々の生活の質を高めるために、時には他と協力しながら、会員が行うさまざまな取り組みから成るものです。
4. 奉仕の第四部門である「国際奉仕」は、書物などを読むことや通信を通じて、さらには、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、積極的平和を推進するために、会員が行う活動から成るものです。
5. 奉仕の第五部門である「青少年奉仕」は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、積極的世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものです。

12. 職業を通じての奉仕

職業奉仕とは、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想を生かしていくことをロータリーが育成、支援する方法です。職業奉仕の理想に本来込められているものは次のものです。

- (1) あらゆる職業において最も高度の道徳的水準を守り、推進すること。その中には、雇主、従業員、同僚への誠実、忠実さ、また、この人たちや同業者、一般の人々、職業上の知己すべての公正な取り扱いも含まれます。
- (2) 自己の職業またはロータリアンの携わる職業のみならず、あらゆる有用な職業の社会に対する価値を認めること。
- (3) 自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てること。

「職業奉仕に関する声明」(1987年 RI 理事会採択)

13. 四つのテスト

言行はこれらに照らしてから

1. 真実かどうか？ (Is it truth?)
2. みんなに公平か？ (Is it fair to all concerned?)
3. 好意と友情を深めるか？ (Will it build goodwill and better friendship?)
4. みんなのためになるかどうか？ (Will it be beneficial to all concerned?)

これは 1954～1955 年度の会長をつとめた H・テラーが、1933 年に破産に瀕したアル

ミニウム会社の再建を引き受けた時の、再建の経営指針としたものでこれによって会社を立ち直らせたといわれている。RIは、この四つのテストを特に職業奉仕の指針として常用しています。

網走 RC でもそうですが、四つのテストは、新しいロータリアンに直ちに渡されます。

ロータリアンとしての職業倫理のもっとも明快簡潔な原則であり、それは問いかけるのみで、答えはロータリアンが行為の中で出していかなければならないものです。RIは、四つのテストを、事務所、工場はもちろん、顧客、仕入先競争者などあらゆる関係においてガイドとするように勧めています。

14. 年度のテーマと特別月間

ロータリー年度の頭初（7月）には、新しい RI 会長から・その年度のロータリーの活動に関する基本的方針がメッセージとして明示される。これはターゲットとか、テーマと呼ばれているものであるが、1953 年度から毎年発表されるようになった。詳細は、毎年度の年次活動計画書の冒頭に掲載されるのでご覧下さい。

また、ロータリーの活動の中で、以下のような特別月間が設けられており、会員はもとより、地域社会に対しても強力な奉仕の推進と宣伝を行うものとされています。

☆ 特 別 月 間

- 8月 会員増強・新クラブ結成促進月間
- 9月 基本的教育と識字率向上月間 / ロータリーの友月間
- 10月 地域社会の経済発展月間 / 米山月間
- 11月 ロータリー財団月間
- 12月 疾病予防と治療月間
- 1月 職業奉仕月間
- 2月 平和構築と紛争予防月間
- 3月 水と衛生月間
- 4月 母子の健康月間
- 5月 青少年奉仕月間
- 6月 ロータリー親睦活動月間

15. クラブの諸会合

◇例 会（Club Meeting, Weekly Meeting）

定例の例会は毎週火曜日 12 時 30 分から網走セントラルホテルにて行います。ただし、夜間例会、移動例会などにより例会日時が変更される場合は、事前に例会において幹事から変更の報告があります。

火曜日が法定休日にあたる日は休会となります。なお、クラブは任意に年4回まで特別休会とすることができますが、3回を超えて続けて休会することはできません。

◇委員会 (Club Committee)

五大奉仕部門ごとに委員会が設けられています。会員は、委員会活動に出席しなければなりません。

◇理事会 (Club Board of Directors)

毎月1回定例理事会を開催します。理事会はクラブの管理主体でクラブの運営上最終の決定権を持ちます。

◇年次総会 (Club Annual Meeting)

毎年12月31日もしくはそれ以前に開催され、次年度の役員と理事の選挙を行います。

◇クラブ討論会 (Club Forum)

奉仕活動について会員に情報を伝達することを目的とするクラブ全会員の公式会合であって、奉仕部門ごとに最低年1回開催するよう奨励されています。

◇クラブ協議会 (Club Assembly)

クラブ全体の活動状況が話し合われます。出席者は役員・理事・委員長だけのクラブがありますが、手続要覧には、「クラブの全会員の出席が要請される」と記されています。

クラブ協議会開催の際には、ガバナー補佐・ガバナー補佐エレクトの出席を要請し、クラブ活動全般についての指導を受けることになっています。少なくとも年6回の開催が望ましいとされています。

◇家庭集会 (Informal Meeting)

委員会単位など小グループの班に分かれ、例会以外に会員の家庭などで開き、親睦とともにロータリーに関する諸問題について理解増進の機会を作ることを目的とし、年2回程度開催されます。

かつて「炉辺談話」(Fireside Meetings)、通称「炉辺会合」といわれた集いは、名称に「座談会」「家庭集会」「情報集会」(Informed Group Meetings)などと変遷があり、現行では、この言葉そのものが「手続要覧」には見られなくなりました。

16. ガバナー公式訪問

網走 RC は北海道東部を範囲とする第 2500 地区に属しています。

各地区は、1名のガバナーを選出し、地区ガバナーはRI理事会の総括のもとに自己の地区内クラブを管理運営しており、国際ロータリー細則で16項目、ガバナー要覧では24項目にわたる任務を課せられています。その中に、年度を通じて個々のクラブの例会あるいは複数クラブ合同の例会への公式訪問を行うことが定められています。

このガバナー公式訪問に当たる例会ではガバナーからロータリーに関する講演、クラブ協議会では活動状況やクラブ運営の問題点について質疑応答が行われます。ぜひ、この例会には出席して、ロータリーに対する理解を深める機会としてください。

17. 地区大会などへの出席

ロータリーの年度内には、必ず3つの大きな会合があります。

①地区大会 (District Conference)

各地区において、地区ガバナーによって開催されます。親睦、感銘ある講演および地区内の情勢、RIに関する事項についての討論を通じ、ロータリーのプログラムを推進することを目的として開催されます。

②都市連合会 (IM : Intercity Meeting)

ガバナー補佐によって計画され、近隣クラブ (分区単位) が合同して情報交換および親睦を深める会合です。

③国際大会 (Convention)

国際大会は、優れたロータリアンによる感動的講演や、その他ロータリーの様々の問題を討論し、ロータリーの理解を深め、親睦を深める最適の機会です。

新しい会員にはぜひ出席することが勧められていますので、貴方もどうか参加を計画して下さい。

18. 例会の出席

(1) 例会の出席

クラブ例会に出席することは、クラブの各種のプログラムに参加する機会であり、会員相互の親睦を深めます。また、定例の例会では例会時間の60%に出席すれば、遅刻または早退しても該当例会に出席したものと認められます。

ロータリーの文献には、例会の出席について、次のように説明されています。

出席は会員としての最小限の奉仕であり、出席なくしてはロータリーの目的は達せられません。出席によって親睦が得られ奉仕の理念が高められるからです。

ロータリーはクラブであり、同好者の集まりです。会員の自発的な出席であり本来は強要されるものでもありません。同好者として出席することにより資格が与えられるのです。

(2) メークアップ

クラブの例会に出席できないときは、同じ年度に他のクラブの例会に出席すること等で、その欠席を補填できます。これをメークアップ (Make Up) と呼んでいます。

なお、都市連合会 (IM)、地区大会、地区協議会、国際大会等への出席は、もちろんメークアップとみなされます。又、理事会への出席及び理事会で承認されたプロジェクトへの参加もメークアップになります。

出席・メークアップについての詳細は、クラブ定款第10条を参照ください。

19. 会員身分の終結

(1) 欠席による会員身分の終結

(a) 出席率、会員は、

- ① メークアップを含むクラブ例会または衛星クラブ例会の出席率が少なくとも 50 パーセントに達しているか、年度の各半期間にクラブのプロジェクト、行事、その他の活動に少なくとも 12 時間参加しているか、または、バランスの取れた割合でその両方を満たしていなければならない。および
- ② 年度の各半期間に、本クラブまたは衛星クラブの例会総数のうち少なくともその 30 パーセントに出席、またはクラブのプロジェクト、行事、その他の活動に参加していなければならない（ガバナー補佐は、この義務を免除されるものとする）。
規定通り出席できない会員は、理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、終結することがあります。

(b) 連続欠席

理事会が正当かつ十分な理由があると認めない限り、または RI 役員等もしくは出席規定の免除をされた場合を除き、連続 4 回例会に出席せず、メークアップもしていない場合には、理事会が会員に通知した後、理事会は、過半数によって、会員の身分を終結することができます。

(2) 会費不払いによる会員身分の終結

所定の期限（7 月 1 日、1 月 1 日）後 30 日以内に会費を納入しない会員に対して、幹事が書面をもって催告し、その催告の日付後 10 日以内に会費が納入されない時は、理事会はその裁量によって会員身分を終結しすることができる。

終結に関する詳細はクラブ定款第 13 条を参照ください。

20. ロータリーの徽章

ロータリーという名称は、最初のシカゴ RC で、その会合を会員の事務所で輪番に交互に開いたので、つまり Rotation という言葉から始まったものです。そして、シカゴ RC 創立間もない頃から、その言葉を象徴する車輪が考案され、使用されていましたが、その後 1912 年に、歯車を表す、現在のデザインが採用されました。

例会や、メークアップには必ず着用しなければなりません。

また、その使用は、個人の用箋とか、商売上の目的で使用することは厳に禁じられています。

21. ロータリーソング

ロータリークラブで歌を合唱するようになったのは、シカゴ RC 創立後間もない頃で、先に述べたシカゴ RC 創立の 4 人に続いて、第 5 人目として加わった、印刷業のハリー・ラグルスです。彼は椅子の上にあがって、大声を張り上げて“さあ皆で歌おう”といて、ソングリーダーをつとめたそうです。歌を歌うことは、クラブの協調の気風を強化し、会員間の親愛を増し、気分を解きほぐすこととなります。

22. ロータリー財団

営利を目的としない世界最大級の財団法人で、その財源はロータリアンや篤志家からの寄付金によります。財団の使命は、ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育へ支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

(1) シェアシステム

年次基金寄付の全額と恒久基金寄付の収益の 50%は、寄付年度の 3 年後に DDF（地区財団活動資金）と WF（国際財団活動資金）に 50%ずつシェアされ使われます。

地区はそのシェアされた DDF の 50%以内を地区補助金として使用し残りをグローバル補助金に使用します。WF はシェアされた 50%に恒久基金寄付の収益の 50%を加え、グローバル補助金に上乗せします。ロータリー財団への寄付金はシェアシステムにより、各クラブが使用できる地区補助金とグローバル補助金に生まれかわります。

(2) 寄附金の種類

1 年次基金寄付

Every Rotarian Every Year (EREY) 日本では「あなたも毎年 150 ドルを」と呼びかけられています。

2 使途指定寄付

使い道を指定する寄付です。(例、ポリオプラス)

3 恒久基金

ロータリー財団が寄付された元本には手を付けず投資運用し、その収益を活動基金として分配されます。(例、ベネファクター)

(3) 感謝の意を表す主な認証プログラム

1 ポール・ハリス・フェロー

年次基金・ポリオプラス等へ累計 1 千ドル以上の寄付をした人

2 マルチプル ポール・ハリス・フェロー

さらに 1 千ドルに達する毎に認証されます

- 3 ポール・ハリス・ソサエティ
毎年1千ドルの寄付履行を申請した人
- 4 ベネファクター
恒久基金へ1千ドル以上の寄付をした人
- 5 メジャードナー（大口寄付者）
寄付分類に関係なく累計寄付額が1万ドル以上の人

(4) 補助金事業の種類

1 地区補助金事業

- ・ 地元、海外を問わず比較的小規模なプロジェクトに使用できる
- ・ 地区が補助金を管理し、短期の1度のみのプロジェクト
- ・ 申請3年前のクラブ年次寄付（EREY）により支給割合が決まる
- ・ 補助金は最高12,000ドル、クラブ拠出金は原則500ドル以上

2 グローバル補助金事業

- ・ 下記のロータリーの7つの重点分野のいずれかに関すること
平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率の向上、地域社会の経済発展、環境
- ・ 持続かつ測定可能な大規模（30,000ドル以上）なプロジェクト
- ・ 実施国と援助国のクラブや地区が共同提唱することができます
- ・ クラブ拠出金は500ドル以上で、複数のクラブで提唱する場合は主クラブが1,000ドル以上、副クラブは500ドル以上です

(5) 認証ポイント

年次プログラム基金とポリオ・プラスへの寄付、および財団補助金の提唱者寄付が、ロータリー財団認証ポイントの対象となります。恒久基金への寄付は財団認証ポイントの対象とはならないことにご留意ください。ポイントは、1米ドルにつき1ポイントです。寄付者はこのポイントを他の人に移譲し、その人がポール・ハリス・フェローとなるのを援助することもできます。認証ポイントを受ける時点で、寄付者本人がポール・ハリス・フェローとなっている必要はありません。認証ポイントは他の人にあげることができますが、亡くなった方、退会した方のポイントは使えません。他クラブの人のポイントは、譲る人が承認すれば受けることができます。

23. ロータリー米山記念奨学会

日本のロータリーの独自の奨学金制度に、米山記念奨学会があります。その名称は、日本にロータリーを招致した功労者米山梅吉を記念して命名されました。

米山記念奨学会公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究のために日本に

在留している私費外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支給し支援する、民間の奨学財団です。

将来母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。米山奨学生の採用数は、年間 860 人（枠）。国際奨学団体としては、事業規模・採用数とも、日本国内では民間最大です。

奨学金による経済的な支援だけでなく、ロータリークラブ独自の世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援があります。

24. 補足…ロータリー用語について

入会后、ロータリーの奉仕活動の中で、とりあえず最低限知っておいていただきたいロータリー用語について、前項までに記述のない事項について簡単に補足説明します。

◇地区協議会 (District Assembly)

地区ガバナーと連携して次期ガバナーが主催する協議会で、地区内全クラブの次期会長、次期幹事、さらに、出席を指定された委員会の次期委員長が出席義務者です。

ロータリー教育とロータリー情報を供与し、地区活動の調整を行い、クラブの管理業務を教示します。また次年度の地区運営に備えて、クラブ内外諸般のロータリー活動について協議し、次期クラブ指導者たちに各自の責務と奉仕の機会についての理解を深めさせ、活動意欲を刺激し、感動を与えることを目的としています。

◇ガバナー (DG : District Governor)

ガバナーは R I 理事会の指揮、監督の下に職務を行う地区における R I の役員です。

ガバナーは地区の最高指導者であり、地区内のクラブを指揮し、監督するに当たって R I の綱領を推進する任務を課せられています。

ガバナーの責務には、新クラブの結成、既存クラブの強化助成、会員増強推進、ロータリー財団支援、地区内クラブ相互間および国際ロータリー間の友好関係の増進、地区大会を計画・主宰、会長エレクト研修セミナーと地区協議会の計画・準備に当たるガバナー・エレクトに協力、公式訪問、ガバナー月信の発行などがあります。地区ガバナーは、通算 7 年以上の会員で、クラブ会長を全期務めたことのある者でなければなりません。

◇ガバナー補佐 (Assistant Governor)

ガバナー補佐は、地区レベルでの任務を遂行し、また担当するクラブの管理運営に関してガバナーを補佐する責務を負います。ガバナー補佐の資格条件は少なくとも 3 年間、地区内のクラブに所属し、会長を全期務めた経験者で、ガバナー補佐の責務を受託する意思と能力がある者で、将来地区指導者として有望であり、1 年 1 期制で 3 期を超えて務めないことを推奨しています。ガバナー補佐の担当する推奨任務には、ロータリー一年

度の開始前に、次期クラブ会長と会合し「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」「機能の喪失」について検討する、公式訪問に際してクラブ協議会に出席する、各四半期に1回は担当地区内のクラブを訪問する、クラブがガバナーからの要請や推奨事項を完全に実行するよう奨励する、各クラブの奉仕プロジェクトに関する活動状況を監督することなどがあります。

◇ローターアクトクラブ (RAC : Rotaract Club)

ローターアクトは、青年男女が個々の能力の開発に当たって役立つ知識や技能を高め、それぞれの地域社会における物質的、あるいは社会的なニーズと取り組み、親睦と奉仕活動を通じて全世界の人々のあいだによりよい信頼関係を推進するための機会を提供することを目的にロータリークラブが提唱する団体で、就職または就学をしている18歳から30歳までの青年によって構成されています。

地区ガバナーによって確認後、国際ロータリーの証明と承認を得て設立されます。

◇ロータリー青少年指導者養成プログラム (ライラ)

(RYLA : Rotary Youth Leadership Awards)

RYLA は地区内の若い人々とロータリアンを参加させる地区のプロジェクトであり、地域社会の若い人々の指導者および善良な市民としての資質を伸ばすことを目的とするものです。RYLA プログラムは世界各地で様々な形で行われているが、ほとんどのプログラムは、セミナーか指導者キャンプのどちらかの方式に基づいて行われています。このプログラムは、ロータリアンに青少年のためにというより、むしろ青少年とともに活動するというやりがいのある課題を提供し、ロータリアンと実業および市民の指導者が、学ぼうとしている出席者に自己の知識と経験を伝える好機であり、「各ロータリアンは青少年の模範」を実践する大いなる道です。

◇「ロータリーの友」について

1952年(昭和27年)7月、わが国が全国一地区から東日本(第60地区)と西日本(第61地区)の2地区に分割されたとき、両地区を連結するための機関誌として、1953年(昭和28年)1月に創刊されたものです。その後1980年7月よりRI理事会の指定する公式地域雑誌になり現在に至っています。

現在は毎年度各地域ガバナー任命のロータリーの友地区委員で構成される委員会が設置され、その下に専門スタッフが編集に当たっています。

◇スマイルボックス (ニコニコボックス)

例会場に置いてある寄附金を入れる箱で、慶事の時、受章の時、就退任の時などに会員の任意の投入箱です。

網走RCでは、毎月の第1例会においてその月の開業記念、結婚記念、配偶者誕生、会員誕生に記念品が贈られますので、この祝福には1件につき2,000円以上のスマイルの投入をお願いしています。例会の欠席(メイクアップをしない時)、遅刻、早退、無バ

ッジ出席などは、ロータリアンとして自主的な投入が原則と考えます。当クラブでは独自に拠出金額の目安となる表を作成していますので、投入時の参考としてください。

なお、弔事につきましてはメモリアルボックスとして申し受けています。

投入していただいた寄附金は特別会計の収入となり、職業奉仕、社会奉仕、青少年奉仕、国際奉仕、ローターアクトクラブなどの事業費に充当されます。

◇ジョッキー献金

毎例会、出席会員には100円の投入をお願いしていますが、この寄附金はロータリー財団への寄附金です。

25. 会員として知っておくと便利なこと

◇イニシエーション・スピーチ (Initiation Speech)

ロータリークラブに入会して、自己紹介をし、経歴や職業、趣味などを他の会員に知らせ、お互いの理解を深めていくスピーチをいいます。

◇インターアクトクラブ (IAC : Interact Club)

インターアクトは奉仕と国際理解に貢献する青少年のためのロータリークラブが提唱している世界的団体で、入会できるのは、高校に在学中の生徒または年齢14歳から18歳までの青年が入会できます。

◇会場監督 (SAA : Sergeant at Arms)

もともとは、英国の王室と議院(下院)での慣用語として使われ「守衛官」を意味していました。

ロータリークラブでは、この言葉を用いる場合には、すべての会議、例えば国際大会、国際協議会、地区大会、地区協議会などが秩序正しく楽しく運営されるよう、常に心を配る役目の人をいいます。また、クラブでは役員としての立場を与えられる重要な存在になっています。

◇会員入会手続きの留意事項

クラブメンバーまたは会員委員会が適切な会員候補者を選定、推薦したとき、委員会は会員候補者の人格、社会的地位、適格性を調査し、理事会に報告しなければなりません。理事会が入会を承認し、その会員候補者の入会についてクラブ会員の反対がないことが明らかになったのち、入会手続きが開始されます。

◇会員推薦カード (Membership Proposal Card)

ロータリークラブのメンバーが所属クラブに会員を推薦する場合に使用するカードのことです。カードは事務局に備えてありますので会員を推薦しようとするメンバーは、カードに必要な事項を記入し幹事に提出してください。

◇完璧な出席 (Perfect Attendance)

ロータリアンの100%の出席記録を指して多くのロータリークラブが使う用語です。

◇メイクアップ (Make Up) のマナー

ロータリアンが所属クラブの例会に欠席したとき、自分の会員としての身分を守り、出席の補填を受けることができる方法です。(詳細は10ページ18を参照)

規則として規定されていませんが、ロータリアンのマナーとして、メイクアップをする訪問予定のクラブに対して、あらかじめメイクアップをしたい旨を連絡することが望ましいといわれています。

◇例会を欠席する場合のマナー

ロータリアンがやむなく所属クラブの例会を欠席しようとする場合は、事前にクラブ幹事、事務局に対して欠席をする旨を連絡することが望ましいといわれています。

◇ロータリー用語の区分 (国際ロータリー、ロータリークラブ、ロータリアン)

世界各国各地のロータリークラブの集合体を「国際ロータリー」といいます。従って全てのロータリークラブは、国際ロータリーの会員ということです。

もう少し、言葉の使い分けを考えて見ますと、「ロータリアン」とは、所属ロータリークラブの会員個人のことを意味し、「ロータリークラブ」は国際ロータリークラブの会員ということになります。従って、個々のロータリアンは国際ロータリーの会員ではないということになります。

(関連3ページ 4)

26. 網走ロータリークラブの歩み その2

◇昭和29年7月6日 週報第1号が発行されました。

◇昭和31年7月1日 網走駅に公德傘30本設置。市内の小学校にも30本寄贈しました。

◇昭和32年 地区名が第350地区に変更になりました。

◇昭和32年7月30日 「良き市民の特性10カ条」を市に寄贈しました。

◇昭和32年8月 例会場を商工会議所からホテル山水閣に移しました。

◇昭和32年12月 創立10周年記念祝賀会が12月25日クリスマス家族会を兼ねて、例会に引き続いてホテル山水閣にて開催されました。

◇昭和35年 北海道は新第350地区として独立しました。

◇昭和35年8月9日 会員の結婚記念日に記念品の贈呈を決定しました。

◇昭和36年7月25日 日の丸デーを選定。毎月第1例会を粗食例会としました。

◇昭和37年9月1日 網走小学校の桂学級児童10名を、オホーツク水族館と天都山に招待しました。(特殊学級児童の招待事業の始まりです。)

◇昭和38~39年度 米国ジョージア州のカロルトン RC とハウスキンスビル RC と兄

弟クラブとなりました。

- ◇昭和 40～41 年度 豪州ビツウオーターRC と姉妹クラブとなりました。
- ◇昭和 40～41 年度 47 週連続 100%出席率を達成しました。
- ◇昭和 41～42 年度 49 週連続 100%出席率を達成しました。
- ◇昭和 43 年 9 月 24 日 網走市民会館において創立 15 周年記念式典を挙行し、15 周年記念誌を発行、網走市に救急車に必要な救急施設と無線機を寄贈しました。
- ◇昭和 45 年 8 月 9 日 豪州から交換留学生 2 名が来網しました。
- ◇昭和 46 年 9 月 17 日 第 350 地区年次大会が網走 RC をホストとして開催されました。この大会を契機に夫人の集いをもち、交流を深めることとなりました。
- ◇昭和 48 年 8 月 25 日 網走 RC をスポンサーとして、網走西ロータリークラブ創立総会を開催しました。網走西 RC へ 11 名が移籍しました。
- ◇昭和 48 年 11 月 10 日 ホテル網走湖荘において 20 周年記念式典を挙行しました。
- ◇昭和 49 年 10 月 6 日 創立 20 周年記念事業として網走市に市民憲章碑を寄贈しました。
- ◇昭和 49～50 年度 第 5 分区代理に本間（義）会員が就任しました。
- ◇昭和 52 年 11 月 例会場をホテル山水閣からまる専会館に移しました。
- ◇昭和 55 年 9 月 7 日 ローターアクト地区大会が網走で開催されました。
- ◇昭和 57～58 年度 第 5 分区代理に白井会員、IM が網走市にて開催されました。
- ◇昭和 58 年 9 月 30 日～10 月 2 日 第 250 地区年次大会が網走 RC をホスト、網走西 RC をコ・ホストとして開催されました。
- ◇昭和 59 年 1 月 例会場をまる専会館から網走セントラルホテルに移しました。
- ◇昭和 61 年 4 月 1 日 創立 35 周年を前に、記念事業として網走漕艇協会に漕艇 3 艇ほかを寄贈しました。
- ◇昭和 62 年 7 月 秋永智徳会員は 1987 年～88 年度地区ガバナーに就任。クラブ創立 34 年にして初のガバナー誕生となりました。
- ◇昭和 63 年 3 月 29 日 チャックケラーRI 会長御夫妻が網走を訪問され、秋永ガバナーとのナッシュビルでの友情を再び網走で実現することとなりました。RI 会長の当地区への訪問は、通常では考えられない一大イベントであり、大変盛大な記念例会がもたれました。
- ◇昭和 63 年 4 月 12 日 RI 第 372 地区（韓国）金一 ガバナー夫妻、晋州 RC 許奉漢 会長が、第 250 地区との日韓提携を深めるため網走を訪問され、網走西 RC との合同歓迎例会が開催されました。
- ◇昭和 63 年 10 月 30 日 創立 35 周年記念式典が網走セントラルホテルにおいて挙行、あわせて 35 周年記念誌が発刊されました。外務省中南米局長の坂本重太郎氏を講師に迎え、記念講演会を開催しました。
- ◇平成 2 年 7 月 27 日 RI 第 372 地区 金一 パストガバナーが短期国際青少年交換の大学生とともに網走を訪問され、網走西 RC と合同の歓迎会が開催されました。
- ◇平成 3～4 年度 第 5 分区代理に武良会員、IM が網走市にて開催されました。
- ◇平成 4 年 10 月 17 日～18 日 ローターアクト地区大会が網走で開催されました。
- ◇平成 5 年 5 月 30 日 駒場せせらぎ公園における網走西 RC との 3 年間にわたる合同植

樹が終了しました。

- ◇平成 5 年 10 月 1 日～3 日 網走西 RC をホストとして、第 2500 地区大会が開催されました。網走市での大会開催は 3 回となりました。
- ◇平成 5 年 11 月 10 日 網走 RC 創立 40 周年記念式典に引き続き、祝賀会が網走セントラルホテルにおいて開催されました。政治評論家の早坂茂三氏を講師に迎え、記念講演会を開催しました。
- ◇平成 8 年 4 月 フレッシュマン読本が作成されました。
- ◇平成 10 年 10 月 2 日 当クラブに初の女性会員が誕生しました。
- ◇平成 10 年 11 月 10 日 創立 45 周年記念夜間例会を開催、ロータリーの帽子を会員に配布しました。
- ◇平成 12～13 年度 第 5 分区代理に大友会員、IM が網走市にて開催されました。
- ◇平成 12～13 年度 ロータリー財団奨学生として久保比呂美さんをアメリカに派遣しました。
- ◇平成 12～13 年度 例会中、会場内が禁煙になりました。
- ◇平成 14 年 5 月 28 日 フリーマーケットの収益金でエコーセンター敷地内に植樹をしました。
- ◇平成 14 年 8 月 6 日 第 2500 回記念例会が開催されました。
- ◇平成 15 年 11 月 1 日 網走 RC 創立 50 周年記念式典を挙行、50 周年記念誌が発刊されました。記念事業として、呼び出し三郎氏を講師に迎え講演会を開催、網走市にロータリー少年少女文庫 1,105 冊を寄贈しました。
- ◇平成 16 年 5 月 9 日 のとりパークゴルフ場にて「ロータリーの森」植樹を始めました。この事業は、ロータリー財団地区補助金の対象として採択されました。
- ◇平成 16 年 10 月 10 日 第 2500 地区大会が美幌 RC のホスト、網走 RC コ・ホストとして網走市で開催されました。網走市での開催は 4 回となりました。
- ◇平成 19 年 8 月 姉妹地区青少年交換プログラムにより、韓国より 10 名がホームステイしました。
- ◇平成 20 年 1 月 姉妹地区青少年交換プログラムにより、青少年 10 名（うち網走から 4 名）ロータリアン 2 名（うち網走クラブ 1 名：副団長 成瀬会員）が韓国を訪問しました。
- ◇平成 20 年 4 月～平成 22 年 3 月 東京農業大学大学院生物生産学研究科 王鵬さん（中華人民共和国）が米山奨学生になり、本間（公）会員がカウンセラーを務めました。
- ◇平成 21 年 3 月 3 日 週報第 2500 号が発行されました。
- ◇平成 21～22 年度 第 5 分区ガバナー補佐に石倉会員、IM が網走市にて開催されました。
- ◇平成 22 年 4 月～平成 24 年 3 月 東京農業大学大学院生物生産学研究科 トゥムルバル・エルデネバットさん（モンゴル国）が、米山奨学生になり野田会員がカウンセラーを務めました。
- ◇平成 23 年 7 月 1 日 当クラブのホームページを開設しました。
- ◇平成 24 年 3 月 6 日 第 3000 回例会が開催されました。

- ◇平成 24 年 8 月 31 日～9 月 2 日 第 2500 地区第 32 回ライラセミナーをホストしました。
- ◇平成 25 年 11 月 10 日 網走 RC 創立 60 周年記念式典を挙行、記念事業として障がい者の就労支援の体制づくりに網走市に 100 万円を寄付しました。
- ◇平成 26 年 9 月 SAA マニュアルを作成しました。
- ◇平成 27 年 9 月 第 1 回オホーツク網走マラソン大会が開催され、多数の会員がランナーとして参加するとともに、クラブでエードを受け持ちました。(今日まで続いています)
- ◇平成 29～30 年度 第 2500 地区ガバナーに成瀬会員が就任。PETS、地区協議会、地区大会等が網走市にて開催されました。
- ◇平成 30 年 1 月～10 月 国際奉仕グローバル補助金を活用して、タイの Surat Thani 地区の幼稚園、小学校の識字率向上のプロジェクトを実施しました。
- ◇平成 30 年 4 月～令和 2 年 3 月 東京農業大学生物産業学部食品香粧学科 グエン・ティ・ゴック・アインさん(ベトナム・ハノイ)が米山奨学生になり、奥谷会員がカウンセラーを務めました。
- ◇平成 30～令和元年度 第 5 分区ガバナー補佐に本間公三会員、IM が網走市にて開催されました。
- ◇令和元年～2 年度 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、10 回の例会を休会しました。
- ◇令和 2 年～3 年度 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、19 回の例会を休会しました。
- ◇令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月 東京農業大学生物産業学部北方圏農学科楊夢凡さん(中国河北省)が米山奨学生になり、永本会員がカウンセラーを務めました。
- ◇令和 4 年 6 月 フレッシュマン読本の第 5 版を発行しました

この小冊子を発行するにあたり、関係の文献を参考とさせていただきました。

- ・ 手続要覧
- ・ ロータリー入門
- ・ My Friend
- ・ ロータリーの友
- ・ 旭川 RC フレッシュマン読本
- ・ 釧路東 RC ロータリーに関する問答集
- ・ 網走 RC 創立 15 周年記念誌
- ・ 網走 RC 創立 50 周年記念誌
- ・ 網走 RC 会報

より広く、深くロータリーを理解するためには、手続要覧をはじめ各種の文献がありますので、ぜひ購読されることをおすすめします

また、例会や家庭集会などの時に先輩会員に教わることも、ロータリーをより理解し、クラブに溶け込む近道だと思います。

出席は会員としての最小限の奉仕です。

“まず出席！ロータリーを楽しもうではありませんか！”

初 版	1996 年 4 月	発行
第 2 版	2004 年 4 月	発行
第 3 版	2008 年 4 月	発行
第 4 版	2014 年 2 月	発行
第 5 版	2022 年 6 月	発行